

| | | | | | | |
|-------------|--|--|------------|-----|---------------------|------------------|
| 科目名 | 小児看護Ⅲ (小児疾患患児の看護) | | | | DP1、DP2、 DP3、DP4 | 看護高等課程 |
| 学年 | 1年 | 分野 | 専門 母子看護 | 時間数 | 13時間 | 担当 教員 外部講師 |
| 科目 概要 | 小児疾患患児の看護は成人の看護とは異なり、成長発達に則した対応が求められる。そのため、小児の診療の介助と看護の基本および特殊技術、特殊な問題をもつ小児の看護、そして主要な症状、疾患症状、疾患に対する看護を学ぶ。 | | | | | |
| 到達 目標 | 1. 小児の特有な健康障害に対する検査、処置、プレパレーションの方法を理解できる。 2. 小児の成長発達にあわせた看護技術の方法を理解できる。 3. 小児疾患患児の症状や問題に応じた看護について理解することができる。 | | | | | |
| 回数 | 単元項目 | 授業内容 | | | 形態 | 担当教員 |
| 1~6 | 小児の診療介助と看護 | 病児の世話（外来での対応、入院時の対応、入院中の世話） | | | 講義 演習 | 外部講師 |
| | 小児看護の特殊技術 | 診察の介助、身体計測（体重・身長・頭囲・胸囲・腹囲）、体温、呼吸、脈拍、血圧の測定、与薬（散剤・水薬・錠剤・カプセル・座薬）、注射（静脈内注射）、採血 穿刺（骨髄穿刺・腰椎穿刺）、採尿・畜尿（尿量測定）、浣腸（催下浣腸・高圧浣腸・こより浣腸）、体温調節、酸素療法（酸素 Tent）、経管栄養、抑制・固定 | | | | |
| | 特殊な問題をもつ小児の看護 | 安静、隔離、食事制限、牽引中、抑制、手術等の必要な児の看護（プレパレーション） | | | | |
| | 主な症状に対する看護 | 不機嫌・不活発、啼泣、疼痛、痙攣、嘔吐、便秘、下剤、脱水、発疹、黄疸、チアノーゼ | | | | |
| | 主な小児疾患患児の看護 | 低出生体重児の看護、呼吸機能障害患児の看護（気管支喘息）、循環機能障害患児の看護（川崎病）、感染症患児の看護（麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎）、泌尿器系疾患患児の看護（ネフローゼ症候群） | | | | |
| | 小児の救急と看護、 災害時の対応 | 救急処置と看護（異物誤飲・溺水） 災害時の対応 | | | | |
| 7 | 試験（1時間） | | | | 試験 | |
| 評価 基準 | 100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。 | | | | | |
| 評価 方法 | 出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。 | | | | | |
| 教科書 | 新井陽子ほか 新看護学 14 母子看護 医学書院 必要時、資料等は配布する。 | | | | | |
| 履修上の 注意点 | | | | | | |